

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大正会館
施設所管課・担当	大正区役所地域協働課（地域協働グループ）（電話:4394-9743）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種事業の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与すること(区役所附設会館条例第2条第1項)
業務の概要	(1) 貸館運営業務 (2) 施設総合管理業務 (3) 地域のコミュニティ振興に寄与する事業
成果指標	利用率/利用者満足度
数値目標	50%/80%
指定管理者名	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用率	利用者満足度
数値目標	50%	80%
年度実績	43.9%	94.9%
達成率	87.8%	118.6%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	48,533	43,731	4,802
利用率	43.9%	43.9%	0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	24,390,888	24,190,030	1,800,888	修繕費の精算に伴う追給措置、電気及びガス代等エネルギーコストの高騰に伴う経費の補填
	計画	22,590,000	22,590,000		
利用料金収入	実績	5,511,880	5,657,940	-497,120	新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数が5類移行後も戻らず
	計画	6,009,000	5,846,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	5,622,297	4,646,168	-1,037,703	物価高騰に伴い当初計画では収支マイナスとなるため一部の事業中止
	計画	6,660,000	6,410,000		
合計	実績	35,525,065	34,494,138	266,065	
	計画	35,259,000	34,846,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	17,605,603	16,939,507	0	
	計画	17,605,603	16,939,507		
物件費	実績	13,178,464	13,155,892	1,280,467	電気及びガス代等エネルギーコストの高騰に伴う経費の増加
	計画	11,897,997	11,837,493		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	4,224,402	3,570,408	-1,301,998	物価高騰に伴い当初計画では収支マイナスとなるため一部の事業中止
	計画	5,526,400	5,235,000		
合計	実績	35,008,469	33,665,807	-21,531	
	計画	35,030,000	34,012,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率	87.8%	B	5類移行後においても新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用率が戻らなかったことを考慮する。
利用者満足度	118.6%	A	数値目標の80%を上回り、指定管理者としての目標である90.5%も大幅に上回った。また、成果指標に係る数値目標の達成率110%以上も満たしている。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・4Rの実践 ・未使用エリア・時間帯の空調停止や消灯 ・カラーコピーの削減、裏紙利用 ・コピー用紙の再利用(裏紙の利用)	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	相見積もりにより縮減した定期点検費用を修繕費用に充填した。また、安全確保が可能な小規模修繕を職員が行うことで業務代行料の削減に努めた。 周辺の治安が乱れないよう敷地内不法駐輪自転車への速やかな対応や、職員による噴水広場の定期清掃を行っている。また、独自のチェックシートにより敷地内巡視を行い、不審者侵入や事故等の未然防止に努めた。 年に2回の消防訓練において、AEDの使用方法を復習し、事故や災害へ備えている。
事業計画の実施状況	B	自主事業について、ホームページやSNSを活用しての情報発信など、工夫を行っている。 多くの区民が利用するフロアでの市民PRコーナーにおいて、季節感のあるレイアウトを施し、区内のお知らせ・大正区等の歴史等の掲示により定期的な新情報の発信を行った。 会館内の掲示物や案内板にて「やさしい日本語」の表記や、ピクトグラムの使用、また、日本語・中国語・韓国語等の多言語表記に努め、サービス向上を図っている。
施設の有効利用	A	防災カフェや絵本のワークショップといった、各種団体との協働イベントや、「たいしょうみんなのショータイム」、「たいしょう愛ランド」など大正会館を拠点とする連携協働事業により、幅広い世代が参加することができ、新規交流の機会を提供している。 区役所の閉庁時間帯や閉庁日等、年末年始を除き開館している強みを活かし、地域コミュニティづくりのためのプラットフォームとして、地域で活動している各種団体相互間、また、それらの団体と行政との連絡調整が円滑に図られる場として活用されている。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

【調査方法】
アンケート形式

【調査期間】
令和 5 年 8 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日
令和 6 年 2 月 1 日～令和 6 年 3 月 30 日

【回答数】
各 100 部

【質問項目】
予約手続きの満足度、スタッフの対応満足度、清掃状況の満足度、備品や設備の満足度、ホームページの満足度

【結果】
備品・設備を未使用の層、ホームページを見ていない層を除き、全項目において概ね高い満足度を得ていることが確認できる。

6 外部専門家意見

各評価委員とも 1 次評価は概ね妥当とのこと。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用率に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用率が大きくは戻らないなかで、5 類移行に伴う収容定員の制限解除を受け、コロナ禍に 2 部屋利用していた団体が 1 部屋の利用に戻ったことから、利用人数が増加する傍ら利用率は変わらない状況を考慮する。 利用者満足度は想定内の水準で目標を達成している。
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B+	事業計画書に掲げられた事業の遂行に加え、不法駐輪への対応や噴水広場の定期清掃、敷地内巡視などを行い、治安保持や事故等の未然防止に努めている。 自主事業はホームページや SNS を活用しての情報発信などで工夫を凝らしており、館内においても、区民が目にする機会の多いフロアや掲示物にて、区内の新情報発信やサービス向上に努めている。 地域コミュニティづくりのためのプラットフォームであり、地域の各種団体の交流の場として活用されている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	